



## イラストでまなぶ 人体のしくみとはたらき 第2版

著：田中越郎／医学書院

定価：3,150 円(本体 3,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■解剖生理学のわかりやすいサブテキストとして大好評の本書。ともすれば難解なイメージの解剖生理を、ストーリー仕立てで展開。登場人物とともに学び、ともに疑問を解決するうちに、人体の構造と機能が頭に入る仕組みは、初学者に読みやすく、指導する側は指導のポイントを絞りやすい。項目ごとの「説明できるようになろう」をクリアしていくことで学ぶべき事柄が整理されるのも本書の大きな特長。

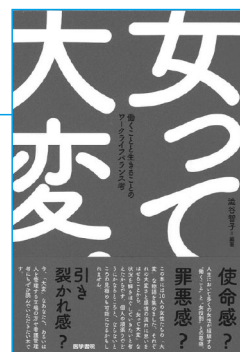
## 女って大変。

働くことと生きることのワークライフバランス考

編著：澁谷智子／医学書院

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「『すべてを持つ女』であるはずのワーキングママの実態といえば…(中略)…およそ“キラキラ”とは程遠い」(本文より)。働く女性なら少なからず共感する、「女って大変」感を 10 人—うち 6 人は看護師—の女性たちがもち寄った。彼女たちの人生の選択も、仕事の仕方も、家庭のもち方も、文字通り十人十色。少子高齢化と同時に進行する未婚社会に向けて、私たちの生き方は？ 働き方は？



## フィジカルアセスメントガイドブック

目と手と耳でここまでわかる 第2版

著：山内豊明／医学書院

定価：2,520 円(本体 2,400 円＋税)／TEL：03-3817-5657

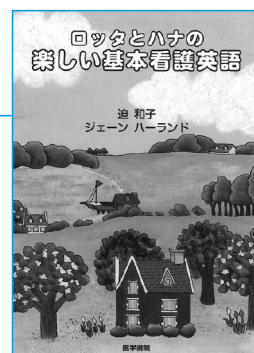
■医療ニーズの高い人の在宅化が進み、特定看護師が議論されるなか、外来、病棟、在宅とあらゆる場面で看護師のフィジカルアセスメント力への期待は高まっている。本書は、フィジカルアセスメントとは何かから説き起こし、看護師の行うフィジカルアセスメントを Part 1「患者の症状・徴候から」、Part 2「身体機能別」に分けてわかりやすく解説する。初学者からベテランまで、使える！

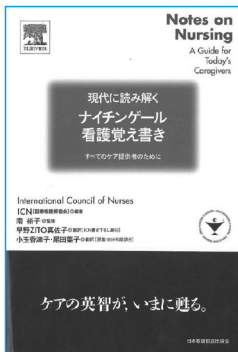
## ロッタとハナの楽しい基本看護英語

著：迫和子、ジェーン・ハーランド／医学書院

定価：1,995 円(本体 1,900 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「困らない」「すぐに使える」「覚えておきたい」etc……。たくさん看護英語のテキストが発刊されるが、その多くは日本の医療施設に外国人の患者を迎えたときの手助けのために書かれている。本書の大きな特色は、海外で医療にかかるとき、患者は看護師とどんなふうに関わるのかを知ることができる点。違う文化を学ぶことで、日本の医療、私たちの看護はより豊かなものになるはず。





## 現代に読み解く ナイチンゲール看護 覚え書き すべてのケア提供者のために

監修：南裕子／日本看護協会出版会  
定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-5778-5640

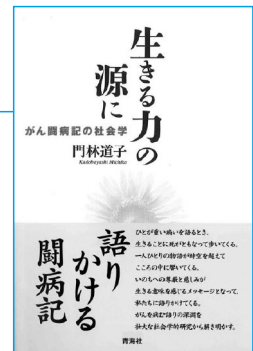
■原著出版から 150 年を記念して、国際看護師協会(ICN)とフローレンス・ナイチンゲール国際基金(FNIF)によって刊行された、『看護覚え書』の現代版解説書。前 ICN 会長の南裕子氏が「はしがき」でふれるように、現代にあってもなお、ナイチンゲールの提供したアドバイスが、そのまま適用される地域、社会が存在する。本書に込められた、そうした事実への想像力を汲み取りたい。

## 生きる力の源に

がん闘病記の社会学

著：門林道子／青海社  
定価：3,200 円(本体 3,048 円＋税)／TEL：03-5832-6171

■著者は、闘病記とは、「まったく不条理な病いを否定的にのみとらえるのではなく、病気と共存していくための肯定的な意味づけを可能にする」(「まえがき」より)営みだと位置づけ、患者の語りに耳を傾け、「病む」ことを通した自己の再構築を知ることが、医療職の患者理解をいっそう深める、と膨大な研究の成果を上梓した。ナラティブアプローチの重要性、有効性を実感できるテキストでもある。



## 触れる・癒やす・あいだをつなぐ手 TE-ARTE(て・あーて)学入門

編：川島みどり／看護の科学社  
定価：3,360 円(本体 3,200 円＋税)／TEL：03-3943-0244

■「手当ての手」。手のもつ力を実感する医療・看護の達人たちが、手の効用を実証しようと、経験をもち寄り、研究を重ねた。医療の高度化に伴い器械の操作法の習得、データの読み方のマスターに追われ、モニターばかりを気にしてはいかないかと、看護職に警鐘を鳴らす。病院から在宅へ、施設へと、患者が居場所を変え、看護の守備範囲が広がるいま、手というツールを見直してみませんか。

「看護専門職の人生を育むもの」シリーズ

## 言葉と人生 心を動かされたあの一言

監修：橋本和子／ふくろう出版  
定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：086-255-2181

■看護職は、人が生きる基本の部分を支え、患者さんや社会から感謝される一方で、援助職ゆえの辛い思いから、時に 3K と自嘲気味に嘆いたりもする。それでも、やっぱりやりがいのある仕事。そんな看護の道を選んだ人たちに「その陰には人が人を思いやる心と言葉の存在があったでしょう。このことを未来へと伝えていきましょう」(「監修にあたって」より)と呼びかけ、本書は生まれた。看護職の心の宝物！

